

安保破棄ニュース

No. 509
2019.9.13

安保破棄・諸要求貫徹大阪実行委員会

〒五四三-0014 大阪市天王寺区玉造元町一七一三
TEL 06-6763-1383
FAX 06-6763-1386
●Eメール ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp
●ホームページ <http://www.ampo-osk.jp>

日米地位協定の 抜本的改定に向けて

ました。

この「提言」以降、既に和歌山県・奈良県を含む7道県と153自治体（大阪では摂津市・忠岡町・吹田市・茨木市・熊取町）の議会で「提言」に沿った「意見書」が採択されています。

また、先の参議院選挙では「市民連合」と野党・会派の掲げた「共通政策」はもちろん、与党である公明党も日米地位協定の改定を掲げました。

いまや、これまで日米安保条約批判が多くのメディアでもタブーとされてきた歴史を、日米地位協定の改定を求める運動の高まりによって、変える展望につながろうとしています。

大阪においては、私たち安保破棄大阪実行委員会が先頭に立ち、学習運動を大きく広げ、「日米地位協定の抜本的改定を求める請願」署名や各自治体での「意見書」採択を求める運動にとりくんできましよう。

日米地位協定の抜本的改定に向けた運動を呼びかけます
今年の4月1日の午後、大阪空港に米海兵隊普天間基地所属の輸送機MV 22 オスプレイが緊急着陸しました。

安保破棄大阪実行委員会は直ちに、安倍首相と岩屋防衛相に対して抗議し、オスプレイの全国での飛行停止と配備撤回を求める文書を発送するとともに、近畿中部防衛局に申し入れを行い、16日に近畿の安保破棄実行委



員会の皆さんと共に交渉（懇談）を行いました。

しかし、「飛行に関しては、米軍の運用に関わることで、承知していない」「どこから連絡したのか一切分からない」という回答に



大阪空港

止まり、緊急着陸した機体には空港職員はもちろん駆けつけた防衛局員すら近づけず、安全確認は連絡を聞いて派遣された米軍の整備士が行っただけで、一方的に離陸していったということについても当然という対応です。これこそが日米地位協定の問題点であり、日本の主権が侵害され、国民の安全・安心に暮らす権利が脅かされています。

の実態です。

全国では、実際に在日米軍による事件・事故が繰り返され、その度に国内法を無視した米軍機の飛行を認める航空特例法や、事故の際の現場への立ち入り権がないこと、また、事件が起きても逮捕することにすら米軍への特権があるために多くの問題が起これてきました。

そのような中、昨年7月には全国知事会が「米軍基地負担に関する提言」を全会一致で採択し、ついに、「日米地位協定を見直し、航空法や環境法令など国内法を原則として適用させることや、事件・事故時の自治体職員の迅速かつ円滑な立ち入りの保障などを明記すること」を盛り込み

日米地位協定の抜本的改定を求める請願

高議院議員 様
参議院議員 様

【宛先】
〒100-8303 東京都千代田区千代田1-1-1
国会議員会館
〒100-8901 東京都千代田区千代田1-1-1
参議院議員会館

【お願い】
この請願は、日本国の主権を侵害する日米地位協定の抜本的改定を求め、早急な対応を要するものです。また、この請願は、日本国の主権を侵害する日米地位協定の抜本的改定を求め、早急な対応を要するものです。また、この請願は、日本国の主権を侵害する日米地位協定の抜本的改定を求め、早急な対応を要するものです。

署名欄

氏名	〒	市	区	丁目	番地	住所

〒100-0061 東京都千代田区千代田1-1-1
【印行先】 安保破棄中央実行委員会 〒101-0061 東京都千代田区千代田2-11-1



日米地位協定の抜本的改定を 署名にご協力ください

安保破棄中央実行委員会
〒100-0061 東京都千代田区千代田1-1-1 3 6階 03-3264-4764
E: ampo-osk@abeam.ocn.ne.jp

「日米地位協定の抜本的改定を求める」署名用紙です。
必要枚数をご連絡いただければお送りいたしますので、ご協力お願いします。

当面の予定

9月

- 20日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
- 27日(金) 日本平和大会大阪実行委員会(11:00～大阪平和委員会)

10月

- 2日(水) 常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 22日(火) 「日米地位協定の抜本的改定を」 学習交流集会
(13:00～16:30 平和と労働センター)
- 23日(水) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)
- 26日(土) 京丹後米軍Xバンドレーダー基地と
舞鶴の海上自衛隊基地視察ツアー(～27日)
- 29日(火) ちばりよ～沖縄合唱団・
「沖縄連帯と辺野古ゲート前コンサートの旅」～11月1日)

11月

- 6日(水) 常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 8日(金) 2019年日本平和大会(～9日) 沖縄
- 10日(日) 京丹後「米軍基地いらんちゃフェスタ」(予定)
- 22日(金) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)

12月

- 4日(水) 常任幹事会(10:00～大阪安保)
- 6日(金) 革新懇・「府民のつどい」(ドーンセンター7階)
- 18日(水) 近畿安保合同会議(14:00～大阪安保)
- 23日(月) 大阪安保 23 定例宣伝(12:00～淀屋橋)

※先月号の訂正とお詫び

安保破棄ニューNo.508の日程欄に誤りがありました。「革新懇・『府民のつどい』」の日程が、「12月16日」になっていました。正しくは、「12月6日」です
お詫び申し上げます。

8月29日に、「オスプレイ来るな八尾連絡会」が八尾市との懇談を行いました。当初、7月31日に行う予定でしたが、事前の質問書に対する回答を用意するためということと、延期になっていました。安保破棄大阪実行委員会としてもこの懇談に同席しました。

八尾市側は、政策推進課が対応し、事前に出していた質問に対する回答から説明がされました。全体として、「安全保障は国政の役割である」という姿勢を取り続け、「基礎自治体としては市民の安全を第一と考えるべきではない」としつつ、具体的な話が国から出てきていない現時点では、反対、賛成いずれの立場もない。としています。

これに対して、オスプレイとはどのような性質をもった航空機なのか。オスプレイは到底災害援助などの役には立たない。オスプレイの訓練を認めることは、オスプレイが世界で行っている戦闘行為に協力することになる。国から話があつてからでは遅い。などの意見が参加者の方から

オスプレイは どこにもいかない

「オスプレイ来るな八尾連絡会」の 八尾市との懇談



23 宣伝行動

8月の23定例宣伝行動を、8月23日の12時から13時、淀屋橋で行いました。継続的に行うようになってから通算で378回目の23行動です。

朝から大雨が降り、昼にも大阪の南部ではかなりきつい雨が降り続けていたようですが、幸い淀屋橋では宣伝行動の時間には雨もやみました。

天気の様子から署名板の用意はせず、スタンディングを中心にするつもりで、プラスターやタペストリーを使い、ビラ配布と日本共産党、自治労連、原水協からの弁士による訴えを行いました。

10人の参加で、ビラも120枚配布でき、プラスターを見ながら歩いていく人も多くいました。

9月の23宣伝行動は、9月20日に行います。是非、ご参加ください。



出されました。

田中前八尾市長は、「八尾空港周辺は住宅の密集地だ。オスプレイの訓練には適さない。…八尾市としてはオスプレイに反対する。」という立場を明らかにしていました。しかし、現在の大松市長(大阪維新の会)はまだ考え方が、立場を示していません。「オスプレイはどこにもいかない」の声を広げ、「戦争する国づくり」にはつきりと反対する大阪をつくっていきましょう。